

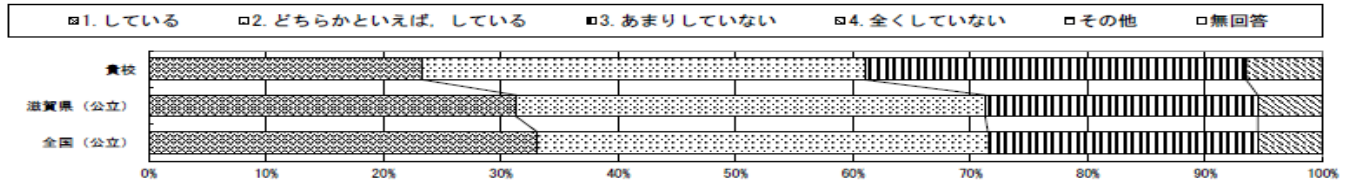


# なでしこ

合い言葉:人にやさしく 学び・かかわり きたえる子

## 「家庭学習の習慣を身につけようウィーク」

全国学力学習状況調査の意識調査結果を見ると、「自主的に学習を進めていく力」が草津小学校の課題としてあげられます。



6月7日(月)から11日(金)までの1週間、2年生以上で「家庭学習の習慣を身につけようウィーク」を行いました。自分で何の勉強をするかを決めて学習をする習慣を身につける取組になります。自分にどんな力をつけたいのか、そのためには何の学習に取り組むのか、具体的にカードに書き込みました。

この家庭学習を充実させる取組は、10年前から始めました。始めた当初は、「どんな学習をしたらいいかわからない」という声も聞かれたため、学校でも学習プリントを準備して、必要な児童には持って帰ってもらいました。最近では、自主学習ノートに自分なりに工夫した学習ができる子が増えてきました。高学年になるとびっくりするぐらいレベルの高い学習を積み上げている子もいます。やり遂げたノートを教室のロッカーの上に積み上げて、その高さが1m近くまで達する学級も出てきました。

今年度は、学校の廊下に、5月の自主学大賞の掲示をしました。5月末に3年生以上で自主学習大賞の呼びかけを行い、自主学習ノートのまとめ方が素晴らしい人に賞をおくる取り組みです。たくさん子どもたちが意欲的に自主学習に取り組み、多数の応募がありました。その中から、特に全校のみんなに参考にしてほしいものを「金賞」「銀賞」として掲示しました。多くの子どもたちが見に来て、「このノートすごいね」「こんな学習ができるようになりたいな」と感心していました。掲示されているノートのまとめ方を参考に、「自分の力になる」自主学習に取り組んでほしいとの願いを込めています。また、自主学習ノートには日記や作文を書いている子もいます。自主学習で学んだことをきっかけに、家族で話し合いを行ったという事例を紹介します。

### ひなん場所

この前、自主学習で「南海トラフ巨大地震で命を守る行動」というものを調べました。それをきっかけに、今一度ひなん場所を確認しようと家族で話し合いました。火事の際は「どういう行動をしてひなんするか」、また、「どこにひなんするか」や同じく地震でも「どういう行動をとり、どこにひなんするか」など、たくさん話し合いました。

話し合っただけ気づいたことが2つあります。1つ目は、マンションにはハッチというものがあることです。階段などが使えなくなったら、それを使って1階におり、逃げるができます。

2つ目は、込田公園はひなん所においていないということです。ぎりぎりまで住宅なので、火事が燃え広がる可能性があります。

お父さんやお母さんと、災害があったときに無事に会えるといいなと(あたりまえだけど)思いました。

このように、学習したことが生活に直結し、日々の暮らしの充実発展につながっていくのは素晴らしいことです。 「家庭学習の習慣を身につけようウィーク」は、年間3回実施する予定です。次回は、優れたノートも何冊か紹介したいと思います。ご家庭でも、自ら進んで学べる子どもにしていくために、子どもたちの学習の見取りと励ましをお願いします。

## ホールの子・・・3、4年生

5月31日(月)、3・4年生は滋賀県の「ホールの子」事業で琵琶湖ホールに行ってきました。滋賀県随一の音響を誇るホールで、生のオーケストラの演奏を聞くことができ、子どもたちは大満足でした。心臓まで響いてくるような迫力ある演奏だけでなく、映像を通した紹介があったり、楽器クイズがあったり、とても充実したプログラムでした。「音楽っていいなあ。」と思える日となったことと思います。子どもたちの感想を紹介します

私は、音楽会に人生はじめて行って見て、とてもすごいなあと思いました。感動してすごいなあと思い、家にくじらから帰って速攻、家におばあちゃんに「オペラを聞いてすごかったよ」と伝えました。ママにも「すごく楽しかったよ」とか「聞いたことがあるのもあった」と伝えると、「ママも行ったことがあるけど、すごいやろう」と自慢するように話してくれました。ママも「行ったことがあるんやなあ」と思いながら、「ママ、コロナが終わったら、またいっしょに音楽会に行こう」と約束しました。本当に行けるか心配ですが、もう一度行きたい気持ちは今もそのままです。きっと、それは、自分が今まで見てきた中でいちばん「すごいなあ」と思ったからだと思います。



私は、初めてミュージカルを見てすごいなあと思いました。いろいろな楽器があって、私の知らない楽器もたくさんありました。特に印象に残っているのは「フルート」です。普通の笛みたいに縦で吹かずに横で吹くのがおもしろかったです。指揮者は、動きがとても激しくてびっくりしました。でも「すごい」と思いました。最後のアンコールの曲が私は好きです。なぜかということ、手拍子が楽しかったからです。

木管楽器は知らない楽器ばかりでした。曲は知っているものとしらないものがありました。その中で、最後のアンコールの曲は心に残りました。ヴァイオリンが2つに分かれているので、とてもたくさんの人が演奏していると分かりました。びわ湖ホールはとても広くて、ライトなども点いているし、上にモニターもあるのですごい迫力でした。テレビなどでは見たことがあっても、やっぱりすぐそこで見たり聞いたりした方がきれいに聞こえます。いろいろな楽器があるのは分かっていたけれど、こんなに種類があるとは知らなかったです。たくさんの楽器があるので、それも調べたいです。

色々な楽器があったけれど、一番すごいと思ったのはコントラバスという弦楽器です。人間の大人よりも大きい学期でした。そして心に残った曲は、アンコールで聞いたラデツキー行進曲です。たぶんみんなも知っている曲だと思うし、とても盛り上がったと思います。そしてこの曲に合わせた手拍子も盛り上がりました。あと、ハバネラという曲は、サランラップのCMの曲だなと思いました。

知っている曲もいくつかあって、「わおっ！」と思うくらいのすごさでした。私は休みの日に、たまにお母さんといっしょに行くのですが、あれはすごかったです。ハーブは、アニメでは見たのですが、実際に見たのは初めてでした。金管楽器も実際に見たことはありませんでした。楽しかったです。

その他にも

- ・一人歌っているときに、マイクがないことにびっくりしました。会場があんなに広いのに声が響いてすごいと思った。
- ・一つの楽器の小さな音が、何重にも重なって大きく音を出すという発想が素敵だと思いました。
- ・ボレロは、同じリズムを様々な楽器で演奏することがおもしろいなと思いました。
- ・リズムが速くなっているところは、指揮者の動きも速くなっている気がした。
- ・全ての楽器を指揮者一人の手で合図して合わせているところがすごいと思った。
- ・自分もヴァイオリンを習っているのだから、あれぐらいうまくなりたい。
- ・大迫力で、心がぞくぞくした。寝る前にまた聞きたい。
- ・こんなチャンスをもたらえて、うれしかった。衣装も綺麗だった。
- ・普段、見られない、聞くことのできない楽器を知ることができた。
- ・リズムも音もたくさんの人たちが一斉に合わせているのはすごい。

という感想が寄せられました。美しいホールで、素晴らしい演奏と歌にふれることができた思いが感じられます。

値打ちのある学習体験だったと思います。





## 信楽焼き出前授業・4年生

6月8日(火)、4年生のなでしこタイム(総合的な学習の時間)「近江お国自慢」の学習の一環として、信楽陶芸の森から芸術家の方々に来ていただき、焼かない信楽焼き体験を行いました。

始めに滋賀県が全国に誇る信楽焼きのお話を聞きました。狸の焼き物で有名な信楽焼きですが、陶器としても、オブジェとしてもいろいろなことで活用されています。今日は焼かなくてもしっかりと固まる粘土で信楽焼き体験をしました。課題は自分の願いがこもった土面を作ることです。子どもたちは、一人一人自分が作りたいお面を一生懸命作っていました。世界で一つだけの土面。焼かなくてもいいので、2週間ほど乾かしただけできあがります。仕上がりがとても楽しみです。

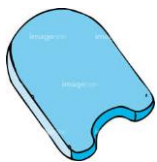


## 水泳学習が始まりました・全学年

6月7日(月)はプール開きでした。梅雨の中休みで、晴天に恵まれました。気温・水温ともに高く絶好のプール日和となりました。今年は感染予防対策のため、学年ではなく学級単位の少ない人数で学習を行います。更衣室も、特別教室等を活用して、広い場所を使い少ない人数で着替えます。

安全管理のため、担任と担任以外の教員2名以上で指導・管理を行います。さあ、いよいよ2年ぶりの入水です。プールからは楽しそうな声が聞こえてきました。3~4時間目、2年生は小プールで宝探しをし、3年生は初めての大プールで浮く練習やけのびを行いました。少ない人数での学習なので、例年よりもすぐに順番が回ってきて、たくさん学習をすることができました。ただ、昨年入れていないこともあるので、こまめに休憩を入れ、あまり無理をさせず、子どもたちの様子見ながら学習を進めていきました。水泳学習の日は大変疲れます。1学期いっぱい、水遊びを楽しんだり泳力を伸ばしたりしながら水泳の学習に取り組んでいきます。

今年度は、水泳大会や皆泳教室は行いませんが、水難事故から身を守るための着衣水泳を5年生で実施します。



## ちよつといい話・・・5年生

今、市役所を会場に、コロナウイルス対策のワクチン接種が進められています。先日、5年生の女の子が2人、学校で遊んでいたら、ワクチン接種を終えられたおばあさんが、ふらふらと学校に入ってこられました。そして、女の子たちに近づいて、「どうやって帰ったらいいかわからなくなったの」と話しかけられました。女の子たちはおばあさんの困っている様子を見て、何とかしようと考えました。そして、おばあさんの話を聞きながら、一緒に商店街の方まで付き添っていきました。商店街までくると、おばあさんもどこへ帰ればいいのか分かったそうです。おばあさんは、女の子たちに大変感謝されました。



# 学校説明会&人権教育研修会

6月15日(火)学校説明会と人権教育研修会を行いました。学校説明会では、校長のあいさつに始まり、「学力向上」、「教育相談」、「人権教育」の各取組について大切にしていることをお話させていただきました。学校教育目標「確かな学力を身につけた心豊かでたくましい子どもの育成」に向けて、全職員で力を合わせて邁進していきます。

その後の人権教育研修会では、滋賀県人権教育研究会 研究員の杉江範昭さんに講演いただきました。「自身や子どもがコロナに感染した際にどこまで打ち明けられるのか。」といったコロナによる人権侵害や部落差別など、様々な人権問題について幅広くお話いただきました。特に印象的だったのは、高校生が就職に向けて面接を受ける際、不当な質問に毅然と反旗を翻し応える場面でした。「面接で自分の子どもが就職差別につながる質問に毅然と回答したら親としてどう感じるか。」と、自身や子どもを想定した身近な問題として参加者同士で意見交流し、考えました。人権問題は私たちに関係のないことではなく、私たちが所属している社会が生み出しています。差別をなくすために、正確で客観的な事実をもとに考え、受け入れる心を大切にしていきたいと改めて感じました。



## 読書ボランティアの読み聞かせ・高学年

草津小ではこれまでから読書に力をいれてきています。朝、図書室の鍵を開けたら一日中施錠せずに放課後まで活用しています。図書館司書の方も週に一度、図書室の整備を行っています。また、各学期の最初に行う朝の「読書タイム」では、担任の指導のもと、子どもたちは集中して読書に励んでいます。

本を好きになるきっかけとして、「読書ボランティア」や「お話研究会」の皆さんの協力は欠かせません。6月14日(月)には、草津市お話研究会の方々に来ていただき、高学年を対象に読み聞かせをしていただきました。滋賀県にまつわる歴史の話や、昔から伝わる民話など、高学年ならではの話を選んで読んでくださいました。紙芝居やペープサートを交え、クイズ形式で子どもたちがより興味がわくよう工夫してくださいました。このことをきっかけにもっと本に興味を持ってもらえればと思います。子どもの読書習慣を確立するためには、各ご家庭の協力も必要です。ご理解をいただき、子どもたちへの励ましや支えをお願いします。



## 成績表(はげみ)について

今年度より、各学期の成績表所見は以下の通り記載します。

道徳科と総合的な学習の時間については、年間2回の所見による評価を行います。また、1学期は、個別懇談会を行いますので、道徳科と総合的な学習の時間の所見のみ記載します。

3年生、4年生の外国語活動については、1学期か3学期の間に1回、所見欄に評価を記入します。

	1学期	2学期	3学期
一般所見	記述なし(個別懇)	○	○
道徳科	○	記述なし	○
総合的な学習の時間(なでしこタイム)	○	○	記述なし
外国語活動(中学年)	3学期の中で1回、所見で評価を行う		